



校訓

強い心 強い体

玉造中学校だより No.3
令和3年6月4日 発行

在籍：男144：女145 計289名

【体育祭開催直前 一人一人の成長を感じます】

6月に入り、日差しが強く感じられる日が多くなってきました。連日の新型コロナウイルスの感染拡大やワクチン接種に係る様々な問題点のニュース、東京オリンピックの聖火リレーと開幕までのカウントダウン（開幕まであと49日）。間もなく聖火リレーが茨城県にもやってきます。行方市でも計画されていて、歴史的な瞬間を楽しみにしている一方で開催に向けての様々な不安や問題点についても考えてしまいます。それは、感染拡大の波が近隣にも迫ってきており、行方市でも過剰な状況にないからです。「学校の日常」を保つために、これまで通り、学校と家庭が一体となって感染症対策をしっかりと行って行きましょう。引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、6月2日（水）には、体育祭の予行練習を実施しました。前日の雨で、グラウンドの状況もよく、また、日差しは雲に遮られることが多く、絶好の練習日和でした。全体練習は、はじめてとあって、打ち合わせをしたり、確認をしたりして行う場面もありましたが、全体としては大きな問題点もなく、予定通りに進めることができました。これまで、各団ごとに練習をしてきた成果だと感じました。予行練習後には、お互いの実力がわかり、自分の団の今の立ち位置がわかったからでしょうか…さらに団練習が過熱したことはいうまでもありません。本番に向けての最高の状態にもっていくという意気込みが感じられ、体育祭の成功を確信しました。

今週は、天候にも恵まれ、連日の練習に熱が入り、団の結束が深まる一方で、疲れが見え始めた生徒もいます。けれども、弱音を吐かずに頑張る姿や適度に休みを取ったり、互いに励まし合ったりしながら練習に取り組む姿をととても頼もしく感じました。実行委員が全体のリーダーシップをとり、団の種目練習は団長・副団長が、応援練習は応援団長がそれぞれ練習を仕切る様子から「自立貢献」の姿を見ることが出来ます。なかなか練習に入れなかった生徒にも、声かけをしながら関わる様子もすばらしいです。みんなで作り上げる体育祭の姿が、玉造中学校に縦割り団活動を通して、脈々と受け継がれていることを感じました。明日の体育祭に向けての練習も仕上げの段階に入りました。今年のスローガンの「Nothing is impossible ～新たな可能性への第一歩～」からも、コロナ禍にあっても自分たちで今年ならではの体育祭をつくっていこうという生徒たちの気持ちが伝わってきます。体育祭の参観に関しましては、3学年の保護者の皆様及びその家族ということに限定しての開催となります。このような判断をするにあたり、PTA本部役員の皆様を通して、ご意見を伺ったところ、「このような感染状況では仕方ないですね。」「適切な判断だと思います。」などのご回答をいただいたことは心強かったです。新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、総合的に判断した苦渋の決断でした。保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝しております。

【写真で振り返る行事】

【5/14 生徒総会・部活動保護者会】



【5/19 県東地区陸上競技大会 総合17位 健闘しました】



